



や 藥 研



※「薬研」とは、昔本院で漢方薬を調剤する際に、薬種を碎いたり、粉末にするために使用した器具で、正面玄関に飾ってあります。
※ 当院は①日本医療機能評価機構②人間ドック健診施設機能評価の認定施設です。

チャレンジ2017年! ~患者さんにより良い医療を提供できるように~

新年あけましておめでとうございます。

一年が過ぎるのは早いもので、つい最近ここで新年の挨拶文を掲載したような気がします。昨年1年間私が目標として掲げた「地元で最初から最後まで完結できる医療の提供」を実践すべく奮闘してまいりました。その成果として、まず内分泌外科・乳腺外科の新たな併設をすることができました。おかげさまで甲状腺がんや乳がんの早期発見や手術が可能となりました。また在宅で看護ができるように訪問看護ステーションの開設もおこないました。これにより頻回に病院に通わなくても自宅に看護師さんが来てくれて、注射や処置をしてもらえるようになりました。さて次なる一手は?と考えたとき、そのキーワードは、「地域包括ケアシステム」と考えております。これは簡単にいうと病院だけで医療を実践するのではなく、地域全体で皆さんの健康を考えるという仕組みです。今までの病院のイメージは「病気になつたら病院においてください。そのかわり病気が治つたらあとはご自由に!」というものでした。私が医者になった頃もそういう考えが中心でしたが、地域包括ケアシステムの考え方は違ってきていました。患者さんが病院に入院され治療を行い、病状が良くなつてると退院に向けて医師、看護師、リハビリテーションのスタッフ、

ソーシャルワーカー、ケアマネージャーなどがチームを組み、退院に向けての準備や帰つてからの環境の整備等を行い、スムーズに在宅への生活に戻れるよう皆でサポートをする。そして帰つてからも患者さんのフォローを行う、という流れです。しかし、いくら地域で健康を考えると言っても重症者を自宅や施設で見ることはできません。やはりその中心は病院になると思います。我々の病院はそういう地域包括ケアになくてはならない病院を目指しています。今年はリハビリテーション科の職員の増員を行い、手厚いリハビリテーションを行うとともに、地域包括ケア病棟という患者さんが自宅に帰るために手厚い支援ができる病棟の開設、また帰つてからも病院になかなか通えない方に対し訪問を行う在宅サービスグループの強化を考えております。今後も皆さんに良い医療が提供できるように様々な努力をしてまいりたいと考えております。本年も、皆さまのご支援を賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



院長
まなべ たけし
真鍋 健史

コラム

2016年の重大ニュース

column

おおばやし こういち
会長 大林 公一



昨日、世界をかけめぐった重大ニュースを並べてみることにします。

まずは、4月、熊本地震。病院やお城が度重なる地震により倒壊していくのを映像でみて、恐れおののきました。またパマナ文書・問題が発生、タックスヘイブンをめぐって、21万社を超える法人が暴かれました。6月、英国民が43年にわたるEU(加盟)より離脱を選択、欧州は大きな岐路に立たされています。テロも記憶に新しい。3月、ベルギーの美しい都ブリュッセルで起きたテロ、6月トルコの最大都市イスタンブールの国際空港での自爆テロ。7月にはバンダラデシュでもテロ発生。明るいニュースとしては、8月に南米初となったリオデジャネイロ五輪・パラ五輪が開催され、会場整備の遅れなどがありましたが、何とか大成功、感動の記憶を残してくれました。11月共和党トランプ候補がマスコミ報道劣勢の中、米国大統領に当選。米国の様々な変化がこれから起きそうです。

2017年こそ皆様にとって良い年でありますようお祈り致します。

病院の理念

- 患者さん中心の医療
- 高水準の医療の提供
- 地域の健康を支援する病院
- 働きがいのある職場づくり

患者・家族の皆様の権利

- 良質の治療を受け、安全が確保される権利
- 自己決定権および選択の自由の権利
- 尊厳を確保する権利
- 個人情報の機密保持と医療情報の開示を受ける権利
- 健康教育を受ける権利



キナシ健康プロジェクト

「訪問看護ステーションきなし」を開設しました!

当院では、昨年12月より「訪問看護ステーションきなし」をスタートしました。

訪問看護ステーションとは、自分らしい生活が困難になった時、支えてくれる体制があれば望む生活を続けることが可能になるよう、看護師・理学療法士・作業療法士などがお住まいを訪問し、療養生活を支えるための事業所です。ご本人の意思やライフスタイルを尊重しながら予防支援から看取りまでお支えいたします。

「訪問看護ステーションきなし」のスタッフは看護師4名（常勤2名、非常勤2名）理学療法士2名、作業療法士2名、言語聴覚士1名（非常勤）と、看護とりハビリが「協働」できる体制になっています。スタッフ全員が人ととのつながりを大切に、誠実にサービスを提供しています。当訪問看護ステーションでは、利用者さんが約70名と徐々に増えています。利用者さんから「訪問に来てくれるから家で元気に居られる。ありがとう。」と感謝されると本当にやりがいがあると感じます。

困難な事例もあきらめず、「きっとなんとかしてくれる」として、地域の皆さんに信頼されるように努めています。そして真鍋院長が掲げた「地元で最初から最後まで完結できる医療の提供」「地域の皆さんの健康を守る使命」を常に持ち、日々研鑽していきます。

「訪問看護ステーションきなし」をどうぞよろしくお願ひします。



ステーション管理者
看護師
もり さちこ
森 幸子



TRIANGLE

キナシデキゴトロジー

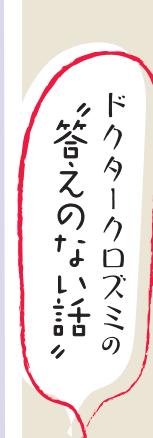
10月25日、当院で献血が行われました。
みなさんのご理解とご協力をいただき、16人分の採血ができました。ありがとうございました。



待ちに待ったクリスマス、サンタさんと踊ったり、プレゼントをもらって大喜びしました。抱っこしてもらって泣きません。だってサンタさんだ~い好きだもん!



■キナシ大林病院における様々な出来事に対して、多方面の「角度(ANGLE)」から意欲的に接近しようとする試み(TRY)
■病院の立地→「川」「鉄道」「道路」に囲まれた、「トライアングル(TRIANGLE)地帯」



くろづみ ひろあき
副院長 黒住 泰明

私、クロズミは薬の分量と組み合わせにこだわりを持っている。

1980年代後半から始まった大規模臨床試験は、その科学的な明解さから、瞬く間に医療界を席巻し、大規模臨床試験を理解しない医者は時代遅れとまで言われる世の中となった。しかし、プラシーボ(偽薬)を対照としたコントロール試験は、倫理性の問題から行われなくなり、既に効果が高いことが証明された薬との比較では明らかな差が証明しにくくなっている。最近大規模臨床試験に行き詰まり感があるのも事実だ。そもそも薬効には個人差があり、個々にあわせた“さじ加減”が必要なことは間違いない。例えば、強心剤のジギタリスなどは、ある量までは薬効を発揮し、それを超えると副作用が強く出てしまうのである。また、多くの薬にはレスポンダー(よく効く人)とノンレスポンダー(効かない人)があり(おそらく代謝酵素のバリエーションによるものなのだろう)、腎機能や肝機能によっては効き方に違いが生じ、多剤を投与すると薬物相互作用にも気を配る必要がある。

臨床においては、まさに“さじ加減”が腕の見せどころなのだ。

第四回
さじ加減

健康まつり

健康まつり実行委員長
リハビリテーション科
理学療法士
かきはら としのり
柿原 稔永



昨年の11月13日（日）にキナシ大林病院健康まつりを開催しました。多くの方に参加して頂き、とても賑やかな1日となりました。ご来場いただきありがとうございました。

今回の健康まつりのコンセプトとして、『知ろう医療・知ろう自分の健康』を掲げ、新たな取り組みとしてウォークラリー方式での参加型イベントを行いました。病院内6か所に設置されたクイズや課題にチャレンジし、得点を重ねていき、総得点に応じて素敵な景品がゲットできるイベントです。薬や食事、処方箋、臨床検査、脈拍測定、在宅ケアクイズ、体力・認知力検査など医療や健康に関する盛りだくさんの問題に、参加された方々は頭を抱えて悩み、時にはスタッフにヒントをもらいながらクイズに挑戦して下さいました。

例年の健康まつりでは、各場所の催し物に対して、どこに行けばいいのか分からぬという意見がありました。そこで、ウォークラリーという形を取ることで行先が明確になり、また周辺の催し物にも参加して頂けるなど、各場所の参加者が増え、多くの内容を知って頂けたかと思います。コンセプトである『知ろう医療・知ろう自分の健康』に合った催し物になりました。私は、総合受付で総得点の集計・景品の受け渡しを行っていましたが、驚くことに皆さん総得点が高い!想定していた以上に、健康のことを熟知していました。これは病院としては嬉しいことです。

まずは皆さんに健康に対して気にかけて頂くことから医療は始まります。この地域の方々が自らの健康を知って頂ければ、健康で居続けられると思います。これからも様々な形で地域の皆さんの健康に関わらせていただきたいと思いますので宜しくお願いします。



スタッフもクイズのヒントをこっそり教えてくれました。



フリーマーケットもたくさん売れてよかったです。



ウォークラリー（お薬とカロリーのクイズ）のコーナー



ウォークラリーで在宅ケアについて考えるみなさん



ウォークラリーには、脈拍測定もあります。



ウォークラリー完走後、景品を受け取ります。



看護実習体験。
慣れない手つきで頑張りました。



院長先生も様々な健康について
相談に乗ってくれました。



リハビリ用品を
試したりもできました。



最後まで残ってくださった方に、お花の苗を
プレゼントしました。



当日は、血圧や血糖を
測定しました。

健康まつり

健康講演

生活習慣病に気をつけ、がん検診を受け 健康で長生きしましょう！

内科、糖尿病、人間ドックは専門分野ですのでこのようなタイトルで、以下のような話をしました。約50名位の方が来られ、スタッフの方も準備お疲れ様でした。

元気で長生きし**ピンピンコロリ**といけたらいいのですが、私たちの**健康寿命と平均寿命とは約10年位差**があります。ま

た人間ドック学会の全国集計では**生活習慣関連項目の異常頻度は年々増加傾向**にあります。動脈硬化が進まないように脳卒中や心筋梗塞を生じないように、生活習慣病（糖尿病、高脂血症、高血圧、メタボ）に気をつけましょう！糖尿病は理想体重をもとに必要なカロリーの健康食を食べる、高脂血症はカロリーの取り過ぎに気をつけ動物性の脂肪を控え、コレステロール摂取300mgが目安、高血圧は塩分6g/日が目標、メタボも食事運動に気をつける、などなど。最近は多くの食品に**栄養成分表が記入**されているので興味を持って是非見て下さい。これら生活習慣病の源となる**食事、運動、ストレス、睡眠、喫煙**に気をつける必要があり、夫を長生きさせる10か条というのも話しました。

次にがん検診ですが、人間ドックを受診するとどの位の頻度でがんが見つかると思いますか？**約380人に1人がんが見つかっています**（全国集計）。発見の最も多いのは男性では**胃がん**で、次いで大腸、**前立腺**、肺がんです。女性では**乳がんが圧倒的に多く**、次いで大腸、胃、子宮、肺がんです。罹患数もこれらが多いです。頻度の多い胃、大腸、肺がん検診は受けて下さい。男性の前立腺がんは高齢者ほど多く見られ、**40(50)歳以上は前立腺がん検診**（血液検査で**PSA**を調べる）を受けましょう。**乳がん、子宮がんは40歳台が最も多く**さらに若い年齢にも見られますので検診は**全年齢で受けましょう！**

高松市の受診券や人間ドックを利用して下さい！

健康まつりにペッパー君が来てくれました。

ご存知の通りペッパー君は、世界初の感情認識ロボットとして、ソフトバンクが平成26年に家庭用に発表し、その後法人向けに全国のお店などで活躍しています。

当日ペッパー君は、お得意の「歌」、「踊り」、「体操」、「年齢当てクイズ」、「早口ことば」などを来場された方々に披露し、物珍しさも手伝ってか、大人・子供を問わず大変な賑わいを見せっていました。

健康まつりが終了後、ペッパー君から職員に向けて挨拶がありました。ペッパー君は、①本日キナシ大林病院で働くことができて光榮であったこと、②ペッパー君が行うリハビリ体操は全国の病院や施設で大変好評をいただいていること、③できることなら、キナシ大林病院の職員になりたいことなどの意思表明がありました。

ペッパー君の今後の努力が認められ、かつ雇用条件が合えば、近い将来、ペッパー君がキナシ大林病院の職員になるかも知れませんね。



内科部長 健診部部長
ほりかわ しん
堀川 真



健康まつりで、
“バル・キナシ”
を開催しました。

“慕情”や“ムーンリバー”など、往年の映画音楽は年配の方には懐かしく聴いて頂けたのではないかと思います。
機会があれば、また開催させていただきます。

くろすみ ひろあき

●ピアノ演奏 副院長 黒住 泰明



健康まつりに、
Pepper(ペッパー)君が
やってきました。



フリーマーケット・
バザーの売上金を
寄付しました。



平成28年11月15日（火）、真鍋院長と山内事務長が、日本赤十字社香川県支部を訪問し、健康まつりで実施した、フリーマーケットやバザーの売上金全額（88,870円）を、社会貢献活動の一環として、川部事務局長に寄付金を贈呈しました。日本赤十字社では、今回の寄付金を、災害支援物資の購入に充てる計画とのことです。

フリーマーケットに品物をご提供いただいた方や、当日お手伝いをしていただいたみなさんに改めて御礼を申し上げます。

資格紹介

『医師事務作業補助者 (メディカルドクターズクラーク)』について



医事課 うえにし な お み
事務員 上西 奈保美

<医師事務作業補助者とは>

読んで字のごとく「医師の事務作業を補助する人」のことです。この資格は、2008年診療報酬改定により、医師不足や医師の長時間労働を軽減するためにできた比較的新しい資格です。事務作業補助者は、医師が外来診療・病棟回診・手術など患者さんに対する質の高い診療時間を確保(医療行為に専念)出来るように、事務作業を医師に代わり、医師の指示の下、行います。

<資格取得方法>

いくつかの種類があり、各民間機関の認定する民間資格です。医師事務作業補助職として6ヶ月以上の実務経験があった私の場合、認定試験受験資格を取るため、32時間以上の研修の中の基礎知識(※①のこと)習得研修20時間を、4日間の通学講座で習得しました。認定試験は、学科と実技(各種書類作成4題)です。

※基礎技能※(※①)

医師法、医療法、薬事法、健康保険法などの関連法規、個人情報の保護に関する事項、一般的医学などの基礎知識習得、診療録(カルテ)・各種帳票の記載方法や記載されている略語について、各種診断書・証明書の目的と記載方法を理解する。

●主な外来業務●

- ・診察室の出入りの介助
- ・診療録(カルテ)の記載、入力
- ・検査のオーダー入力
- ・検査の説明
- ・次回診察の予約
- ・病名入力 など

●診断書などの文書作成業務●

- ・生命保険など診断書
- ・病院様式の診断書
- ・身体障害者、労災などの診断書
- ・後遺症診断書
- ・退院サマリーの作成
- ・診療情報提供書(紹介状、返書)
- ・介護保険の主治医意見書 など

医師の業務負担軽減に貢献し、質の高い医療を患者さんに提供出来るように、また、患者さんの満足度も上がるよう全力でサポートさせていただきます。

自分への 挑戦！

ベストボディジャパン高松大会出場

私は昨年、元K1ファイターの魔裟斗がスーパーバイザーを務めるベストボディジャパンの高松大会に出場しました。東京大会だと、有名処で俳優の金子賢(彼の場合はトップアスリートですが…).あと、コメディアンのレイザーラモンHG、小島よしぉ等が出席しています。

大会は、全国の大都市をサークル形式で回っており、年齢別で分かれています、フレッシャーズクラス(20歳代)、ミドルクラス(30歳代)、マスターズクラス(40歳代)、ゴールドクラス(50歳代)で、私はマスターズクラスにエントリーしました。

私は、前職でフィットネスインストラクターをしていた事もあって、筋力トレーニング及びスタジオプログラムは続けておりました。ある日、トレーニング仲間にこの大会への参加を薦められ、軽い気持ち



施設グループ守衛
おおにし まさてる
大西 正晃



で承諾してしまいましたが、後から、ベストボディジャパンだと聞いてゾッとしました。でも男に二言はなく…また、子供達に「やればできる」というメッセージになればと思い、出場を決意しました。

大会当日までの期間5ヶ月間新たにトレーニングプログラムを作成、徹底まではいきませんが食事管理、ステージ上の基本ポーズ及びフリーpoーズの練習と自分なりに頑張りました。頑張った甲斐があり、この度マスターズクラスでファイナリストとなれました。子供達にも『父さん、スゲエ』といわれ、父親の威厳も保たれたと感じました。

私事ですが…筋肉は裏切りません!! 基礎筋肉(体幹等)を鍛えることによりバランスが安定し、心身ともに余裕が持て色々な事が摃ると思います。だから、適度な運動、適度な筋力トレーニング実施をお勧めします。

今年の目標ですが、5月に行われる神戸大会に出場し入賞目指して頑張りたいと思います。

研修医紹介



研修医
やまもと りょう
山本 遼

1月より3か月間、内科、放射線科にて研修させていただいている、山本遼と申します。出身は香川県坂出市で、学生時代を含めてこれまで香川県で過ごしてきました。病院職員の皆さんには多々ご迷惑をおかけするかもしれません、が、学ぶ、という姿勢を常に忘れず誠心誠意治療に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

避難訓練

11月16日水曜日に、2階病棟で深夜の火災を想定とした避難誘導訓練を実施しました。

今回は、消防署の職員の方が火元となる場所を職員に知らせらず設定し、万が一の火災に備えて、患者さんを素早く安全な場所に避難誘導できるよう実践ながらの訓練を行いました。



さぬきの郷土料理

今回は、香川県の郷土料理を紹介します。



栄養科 管理栄養士
おおた のりこ
太田 典子

■しつぽくうどん

季節の野菜をだし汁とともに煮込み、茹でたうどんの上にかけて食べます。

たくさんの具材を使っているので、優れたうどんとして、昔から、さぬきの人々に親しまれてきました。

■あん餅雑煮

あん餅を使った白味噌仕立てのお雑煮は、全国的に珍しく、さぬきならではの味です。

家族が仲良く円満でありますようにとの願いをこめて、野菜は輪切りにするといわれています。

これから寒い季節、ここでも、からだも温まる2つの料理を是非作ってみて下さい。



▲しつぽくうどん



まつもと めい
松本 明衣
①看護師 ②外来
③10/1④香川県
⑤ショッピング、映画鑑賞



もり さちこ
森 幸子
①看護師
②在宅サービスG
③10/1④香川県
⑤アロマテラピー



まつした のぞみ
松下 希実
①事務員 ②医事G
③10/7④香川県
⑤編み物



うつのみや まりな
宇都宮 毯那
①看護師 ②7階病棟
③10/17④愛媛県
⑤テニス



いしかわ たかよし
石川 貴祥
①看護師
②透析センター
③11/1④愛媛県
⑤寝る事



おおもと まなみ
大本 真菜美
①看護師
②5階病棟
③11/1④徳島県
⑤買い物



かわかみ まゆみ
川上 真裕美
①看護助手
②2階病棟
③11/16④香川県
⑤甘い物を食べる事



まえだ いとえ
前田 糸絵
①事務員 ②医事G
③11/16④兵庫県
⑤野球観戦



みやたけ なつみ
宮武 菜摘
①看護助手
②6階病棟
③11/16④香川県
⑤旅行



ばば ゆうき
馬場 結城
①准看護師 ②外来
③12/1④香川県
⑤部屋の模様替え

おめでとう

■ホスピタリティ検定3級 上西 奈保美 (医事G)

■医師事務作業補助者認定 鈴木 利恵 (医事G)

診療実績			
H28年	9月	10月	11月
外来患者数	12387人	12543人	12392人
新入院患者数	168人	164人	203人
退院患者数	167人	186人	184人
地域医療支援病院紹介率	20.30%	17.30%	22.60%
救急車搬入件数	43件	41件	34件
救急車搬入後の入院数	24人	23人	19人
手術件数	48件	55件	53件

編集後記

昨年もあっという間に1年が過ぎました。年齢を重ね、何気ない日々を健康に過ごせることがどれほど幸せなことなのか強く感じようになりました。皆様、どうか自分の心と体の声に耳を傾け、自身としっかり向き合ってあげてください。今年一年が皆様にとって幸多き一年になりますように心からお祈りいたします。(U)